今 Notes/Dominoについて知っておくべき10のコト

“NDS2019” 公開版

※当日の会場投影版とは体裁が異なります

2019年9月

株式会社 エイチシーエル・ジャパン
HCL ソフトウェア
ビジネスパートナー&ブランドストラテジー担当
シニアブランドストラテジー担当 赤松 宏佳

HCL SOFTWARE

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

Notes/Dominoの最新情報

今 Notes/Dominoについて知っておくべき10のコト

1. 最新バージョンは Notes/Domino V10

1. 最新バージョンはNotes/Domino V10

2018年10月10日 Notes/Domino V10 リリース
➔現在の Notes/Domino の最新バージョンは バージョン 10.0.1

Notes/Domino V10 の特長

- クラウド・サービスで実現された新機能なども統合した、5年ぶりのメジャー・バージョン
- クエリーでのリクエストや REST API を利用したアプリケーション開発や他システム連携に対応
- iPad で既存の Notes アプリケーションがそのまま動作する Domino Mobile Apps の登場 → 詳しくは"2"へ

Notes/Domino V10 の主な新機能

- iPad対応クライアント Domino Mobile Apps
- Domino Query Language (DQL) や Node.js アクセスなどのアプリ開発機能の拡張
- 256GBのデータベース容量をサポートする新しいODS
- シンメトリック・クラスタなどのサーバー機能強化
- 文書削除ログなどの管理機能強化

現在ご利用中のバージョンはどれですか？

バージョン	リリース日	サポート終了日
Notes/Domino 6	2002年9月30日	2007年4月30日
Notes/Domino 6.5	2003年11月7日	2010年4月30日
Notes/Domino 7	2005年10月7日	2011年4月30日
Notes/Domino 8	2007年9月21日	2015年4月30日
Notes/Domino 8.5	2009年1月23日	2018年9月30日
Notes/Domino 9	2013年3月12日	(未定)
Notes/Domino V10	2018年10月10日	(未定)

➔ **以前のバージョンをご利用中のお客様は、最新バージョンをご利用いただき、新機能をご活用ください**

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

最新バージョンを利用可能にする方法はご存知ですか？ ソフトウェア保守更新のご案内

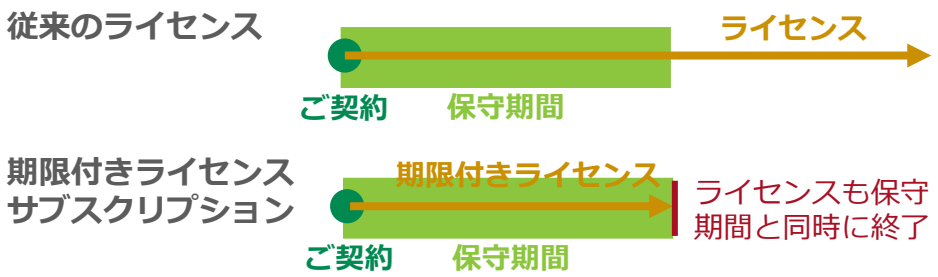
➔ **以下のご契約(ご注文)で最新バージョンがご利用いただけます**

- 既存の保有ライセンスに対するソフトウェア・メンテナンスの適用(有効なS&Sの保有)
- 期限付きライセンス、サブスクリプションの契約

期限付きライセンス、サブスクリプションとは？

➔ **従来の「無期限」のライセンスとは異なり、(保守期間と同じ)期間を限定して提供(使用許諾)されるライセンス形態**

- ✓ 従来のライセンスに比較して開始時(新規利用時や保守再開時)のコストが小さい
- ✓ 毎年の利用量に応じて契約できるので、利用量の変動が大きい場合にはTCOを抑制することができる



「Notes のバージョンアップは大変」？ – それは昔の話です！

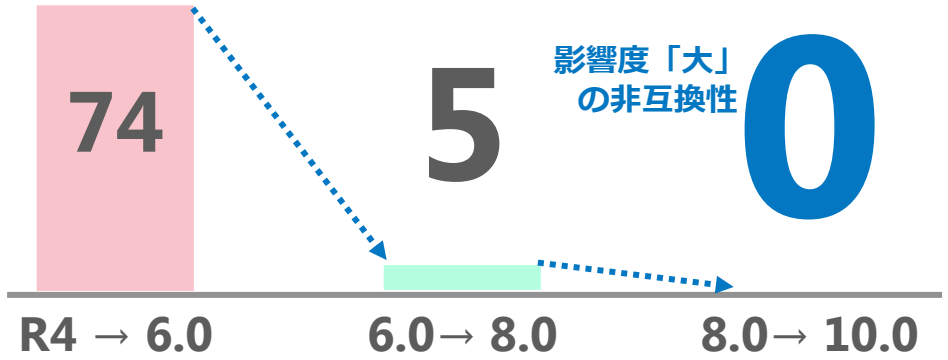
➔ **Notes/Domino 6 以降、バージョンアップ時の互換性の問題はほとんどありません**

- 「アプリケーションの動作検証」は必要最低限でOK
- クライアントの配布、IDファイルとパスワードの更新、端末の変更などをサポートする機能も充実

Notes/Domino バージョン間での互換性の向上

➔ **影響度「大」に分類される非互換情報は Notes/Domino 6 以降ほとんどありません**

※ 移行 Hint & Tips 集に記載している既知の非互換情報件数より



Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

今 Notes/Dominoについて知っておくべき10のコト

2. モバイル端末でアプリがそのまま動く Domino Mobile Apps

2. モバイル端末でアプリがそのまま動くDomino Mobile Apps

iPad で既存の Notes アプリがそのまま動作する Domino Mobile Apps が登場

➔ V11 では iPhone 対応も予定

Domino Mobile Apps の価値

- 既存の Notes アプリケーションがそのまま動作
- Notes アプリの開発手法で 新規モバイル・アプリの開発が可能

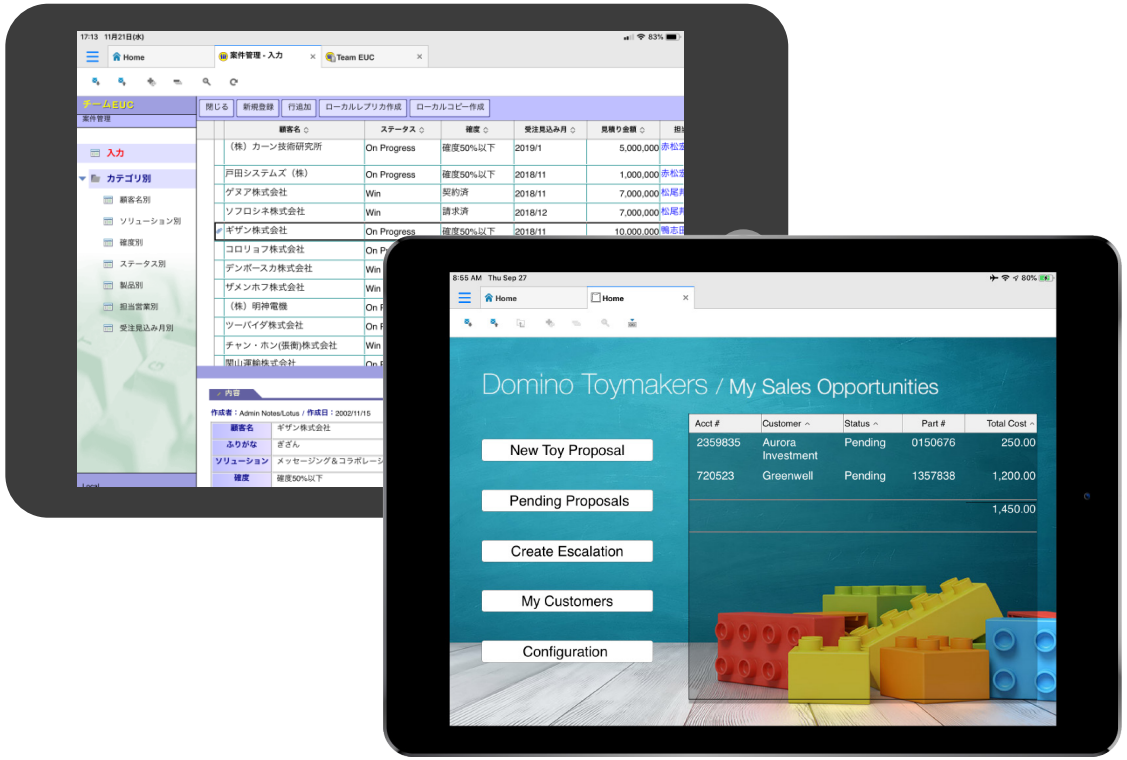
➔ **Notes の特長である「業務アプリ」を iPad、モバイルでも活用**

Domino Mobile Apps の利用に追加ライセンスは不要

➔ **保守が有効な Notes/Domino のライセンスがあれば Domino Mobile Apps の利用が可能**

※ Notes/Domino アプリケーションの利用が可能な一般的なライセンスを利用の場合。詳しくは License Information をご確認ください

Domino Mobile Apps 利用イメージ

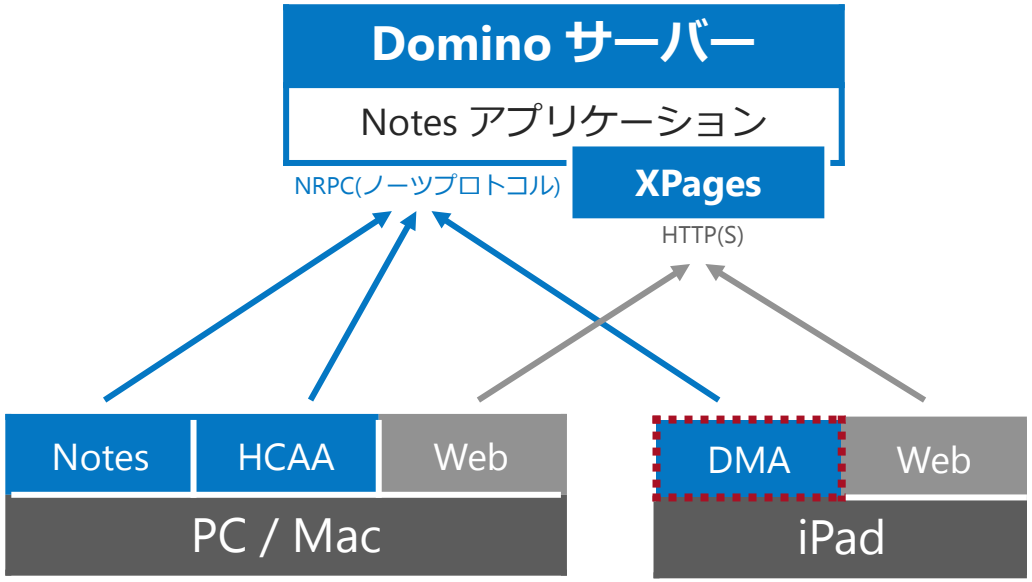


Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

Notes アプリが「そのまま動く」仕組み

Domino Mobile Apps (DMA) は PC/Mac 上の Notes クライアントと同じ方法で Domino にアクセスしてアプリを稼働

- 通信プロトコル(ポート)は NRPC(1352)
- 認証や通信の暗号化などもそのまま利用可能
  - ✓ メール・ファイルの利用はできません
  - ➔メールは Verse モバイル・アプリで利用可能



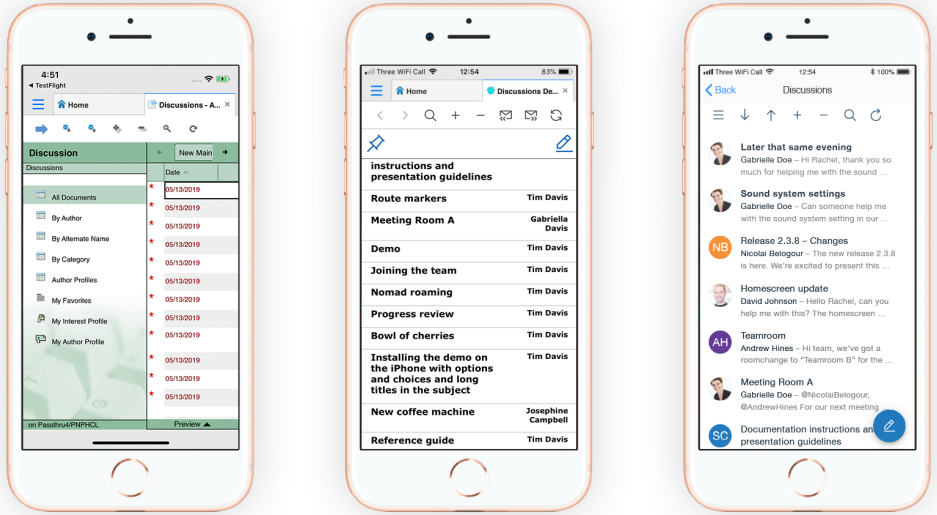
iPhone や Android 対応も計画中

- iPhone や Android (タブレット、スマートフォン)、Chrome OS のサポートも計画

➔ **スマートフォンの画面サイズへの対応機能(予定)**

- Mobile Frame Identification
- Hide Column from Mobile

➔既存の Notes アプリと開発手法で動作するアドバンテージをスマートフォンでも利用可能に



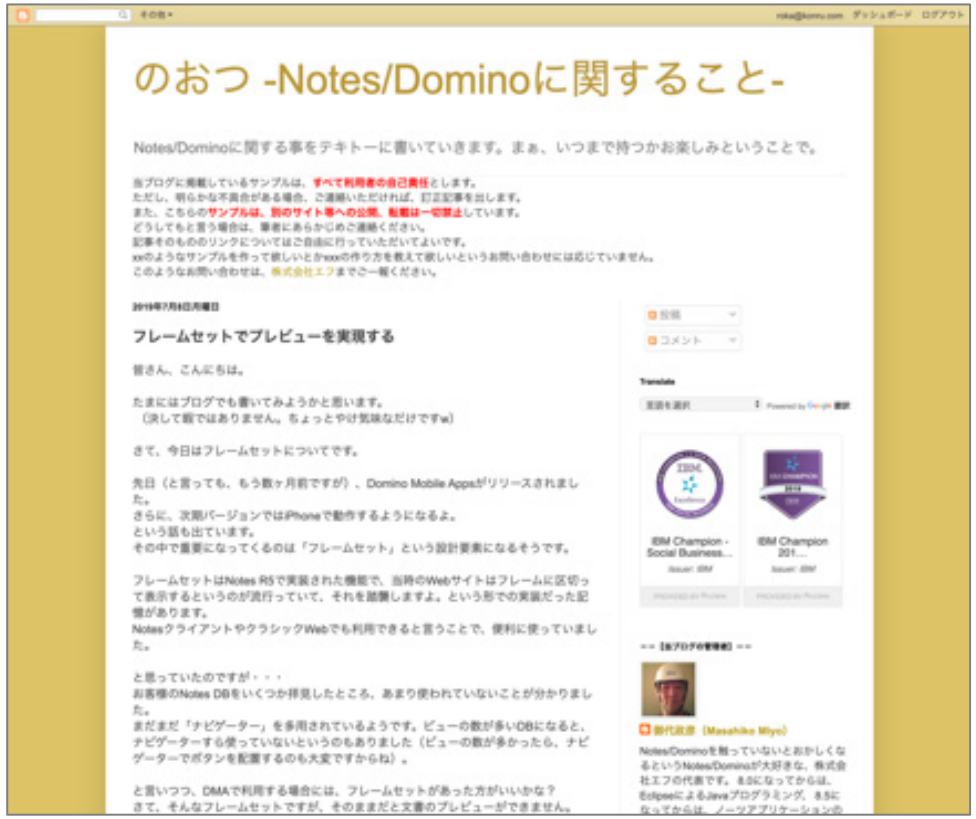
※ 画像は開発中のイメージとなります

株式会社 エフ 御代 政彦 様 HCL Master

blog 『のおつ -Notes/Dominoに関すること-』より

フレームセットでプレビューを実現する

➔https://guylocke.blogspot.com/2019/07/blog-post.html



エームサービス 株式会社 小野 誠 様 HCL Master

blog 『サッカー馬鹿なプログラマー』より

Domino Mobile Apps(DMA)向けのDBを考える-

「ステッププログレスバー」編

➔https://ameblo.jp/mak1005/entry-12480958418.html

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

今 Notes/Dominoについて知っておくべき10のコト

3. IBM からの製品移管と HCL Technologies について

3. IBM からの製品移管と HCL Technologies について

2019年7月 Notes/Domino(を含む一部のIBMソフトウェア)は HCL に製品移管
➔HCL は新しい成長エンジンとしてソフトウェアに投資していきます

HCL グループ

HCLテクノロジーズ
(www.hcltech.com)
テクノロジーによるビジネストランスフォーメーション、R&D・ITアプリケーション・BPO・ITインフラストラクチャ

➔グローバル市場に展開

- グローバル44カ国に展開 (2019年3月時点)
- 従業員数：13.8万人
- 売上高：86億米ドル(約9千億円)

HCLインフォシステムズ(www.hclinfosystems.in)
ハードウェア・サービスとICTシステムインテグレーション・コンピュータ・ストレージ・ネットワーク・セキュリティ・通信・映像機器・プリンタ・コンシューマ製品
➔ インド市場に焦点

HCLヘルスケア(www.hclinfosystems.in)
ジョンズ・ホプキンス・メディスンとの提携のもと、インド国内全域に、慢性/急性疾患の治療を提供するクリニック・ネットワークを展開
➔ インド市場に焦点

HCLテクノロジーズの モード1-2-3戦略

モード1：コアサービス
アプリケーション、インフラストラクチャー、BPOおよびエンジニアリングR&Dといったコア分野のサービス提供
HCL独自のオートノミクス&オーケストレーション製品・プラットフォーム群である"DRYiCE"により、お客様のビジネスとITを「リーン」で「アジャイル」なものへと変革いたします

モード2：次世代サービス
デジタル&アナリティクス、IoT WoRKS™、クラウドサービス、サイバーセキュリティ&GRCサービスなど、顧客エクスペリエンスを重視したサービスを統合的に提供
お客様の事業の成果向上に貢献します

モード3：ソフトウェア = HCL SOFTWARE
デジタル・ソリューション、マーケティング、コマース及びセキュリティといった分野のお客様ニーズに対応したエンタープライズソフトウェア事業
IBMより買収したAppScan、BigFix、Commerce、Connections、Digital Experience (Portal and Content Manager)、Notes/Domino、およびUnicaについて、製品ロードマップ、クライアント・アドボカシー、透明性の高い開発プロセス、スピーディーな製品リリース、そして提案型の営業チームによりお客様に確実に価値をお届けます
将来的にソフトウェア製品を、既存のコアサービス(Mode1)、次世代サービス(Mode2)と組み合わせることで、魅力的な"as-a-service"モデルをご提供できるようになります

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

製品移管後の HCL Software のラインナップ

Automation
- BigFix
- Workload Automation
- Clara
- HERO

Data Management
- HCL Informix
- HCL Integration Platform

DevSecOps
- AppScan
- OneTest
- OneTest Embedded
- RealTime Software Tooling
- Design Room Live!
- Flexiem & Traxiem
- HCL UrbanCode
- HCL Forms

Digital Solutions
- Atlas
- Connections
- Domino
- Notes
- Sametime
- Verse
- Digital Experience
- LEAP

Marketing & Commerce
- Commerce
- Unica

Mainframes
- Z Data Tools
- Z Asset Optimizer
- Terminal Enterprise Access

Innovations
- Clara
- HERO

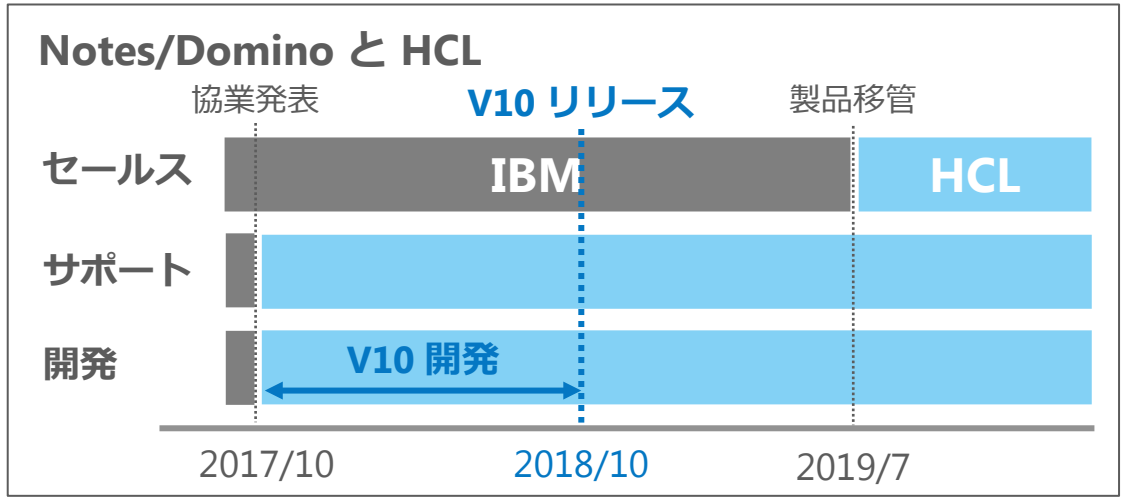
➔ https://www.hcltechsw.com/wps/portal/products

Notes/Domino V10 と HCL

HCL による Notes/Domino への取り組みは、今回(2019年7月)の製品移管よりも以前から続いています

➔ **Notes/Domino V10 は HCL が開発を担当しました**

- 2017年10月に HCL と IBM の協働による Notes/Domino の新バージョン(当時)の計画を発表
- ➔Notes/Domino V10 として 2018年10月リリース
- ✓ 開発、技術サポートは(IBMからの転籍を含め)HCLが担当
- ✓ 新機能の検討などにあたり、JAM、Product Idea Forum などの新しい取り組みを実施



Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

今 Notes/Dominoについて知っておくべき10のコト

4. V11 のリリース予定と将来計画(ロードマップ)

4. V11 のリリース予定と将来計画(ロードマップ)

Notes/Domino V11 の 2019年中のリリースを計画しています
➔機能に関するご要望をお聞かせください

Notes/Domino V11 のキー・コンセプト

- Build more Apps
- New Experiences
- Lower TCO

計画中の主な新機能など

- 新しいUI(ユーザー・インターフェース)
- 軽量版クライアント
- Domino Directory の高度な Microsoft ADFS 連携
- クラウド・ストレージの利用が可能な新しい DAOS
- 英語版と主要各言語版の同時リリース
- Domino Mobile Apps の iPhone, Android, Chrome OS 対応
- ローコード開発環境 “Leap on Domino” →“10”へ
- etc…

ベータ・プログラム、Product Idea Forum のご案内

Domino V11 ベータ・プログラムの案内 (英語)
➔ https://www.cwpcollaboration.com/blogs/its-beta-time

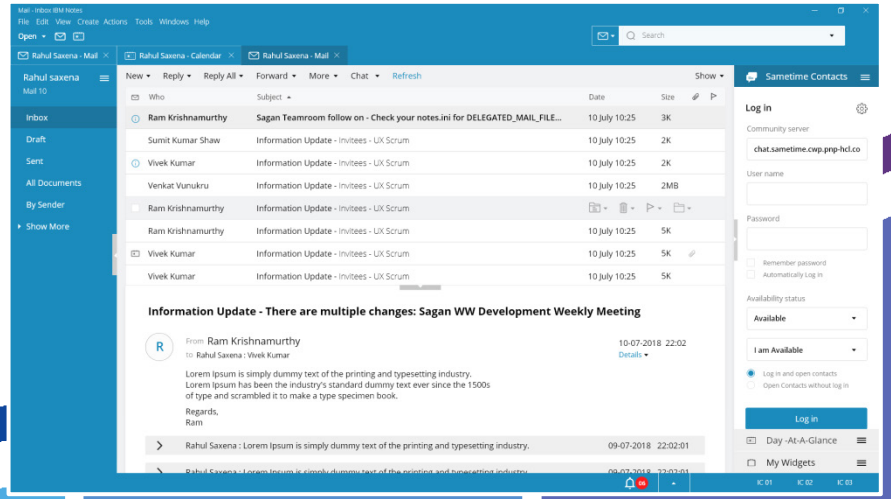
Domino Product Ideas Forum (英語)
➔ https://domino.ideas.aha.io/?sort=recent

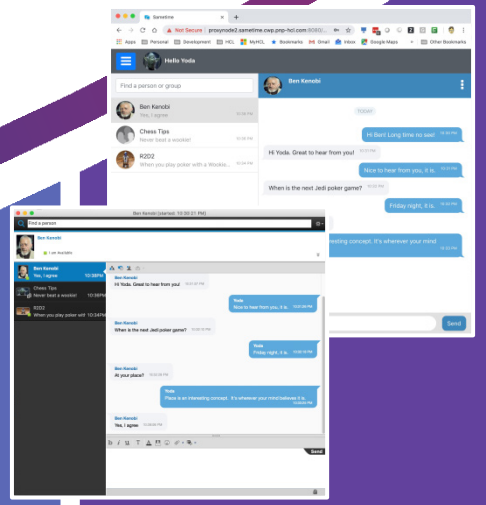
Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

Collaboration 製品のロードマップ

➔ 2020年までの計画

- Notes/Domino → V11, V12
- VOP (Verse On-Premise) → 1.0.9, 1.0.10
- Sametime → V11, V12
- Connections → V6, V6.5, V7
- DX (Digital Experience) → 10





Q3 2019	Q4 2019	Q1 – Q2 2020	Q3 – Q4 2020	2021+
• Connections v6 CR6 • N/D v11 Beta– I & II • N/D Group 2 Lang.	• Domino v11 • Notes v11 • Sametime v11 • Connections v6.5 • DX Release 9.5	• ND v12 Beta • VOP 1.0.9 • AppDev Pack 1.0.3 • Connections 6.5 CR 1 & 2 • DX Release 10	• Connections v7 • Domino v12 • Notes v12 • VOP 1.0.10 • AppDev Pack 1.0.4	

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

Notes/Dominoの意外な事実

今 Notes/Dominoについて知っておくべき10のコト

5. TCO, ROIに直結する オール・イン・ワンの 製品構造 (アーキテクチャー)

5. TCO, ROI に直結するオール・イン・ワンの製品構造(アーキテクチャー)

Domino 1台で他のシステムなら5台分のサーバーをまかないます
➔スモール・オフィス、部門での利用からグローバル企業の基幹業務まで、規模に応じた柔軟な導入かつ他システムが不要なアーキテクチャー

オール・イン・ワンのアーキテクチャー

- Domino サーバーは企業が業務を遂行するためのコラボレーションや業務アプリケーション環境を実現するために必要となる各種のサーバーや機能を網羅
- さらに業務アプリケーションの開発、展開、実行に必要な機能を含めた「統合環境」

アプリケーションの「活用」に有利なライセンス体系

- Notes/Domino のライセンスだけで「統合」されたすべての機能をカバー
- アプリケーションの数、利用頻度、データ量などはライセンス費用に一切影響なし

※ Notes/Domino の一般的なライセンス、サブスクリプションの場合

TCO、ROI に関する高い評価

- 「1台のDominoサーバーの使用をやめると同じタスクを実現するために5台以上のサーバーが必要となる」
- その他、Domino はお客様調査で以下のような TCO、ROI に直結する高い評価を得ていてます
  - ✓ 堅牢なアプリケーションを迅速に開発するツールを提供
  - ✓ 作成されたアプリケーションは、アップグレードの追加コストなしで性能と信頼性を保証
  - ✓ 開発されたアプリケーションは、組織の独自のニーズと優先順位を支持するよう完全なカスタマイズが可能
  - ✓ 必要な機能を社内で開発することで、市販のソフトウェア製品のコストを回避できる

※ “The Total Economic Impact Of IBM Domino” より抜粋

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

Notes/Domino に含まれる主なサーバーや機能

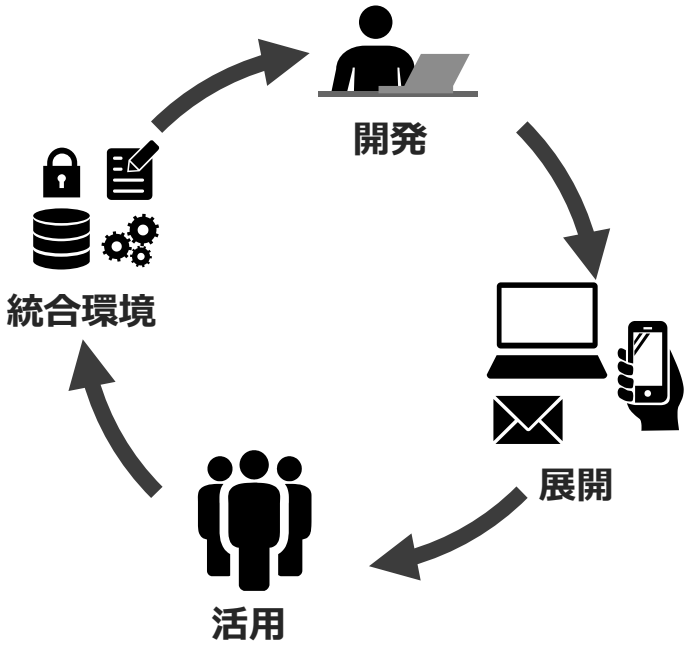
Notes/Domino はデータベース、HTTPサーバー、認証サーバー、開発環境、etc... といったアプリケーションの開発からユーザーへの提供(展開)を行うために必要となる多くの機能を統合して提供

アプリケーションの「活用」に有利なライセンス体系

Notes/Domino の標準的なライセンスは、アプリケーションの数や、利用するクライアントの種類や数に影響されません。つまり、アプリケーションを利用すれば利用するほど ROI が高くなります。→"6"で詳しく

HCL Notes/Domino

- データベース機能
- 検索エンジン
- メール・サーバー機能
- HTTP(Web)サーバー機能
- サーバー冗長化機能
- 他システム連携機能
- ディレクトリ機能
- 認証&アクセス制御機能
- アプリケーション開発環境
- 管理機能
- etc...



➔他のシステムが不要な統合環境が TCO を抑制

➔アプリケーションの活用に有利なライセンスで ROI を増大

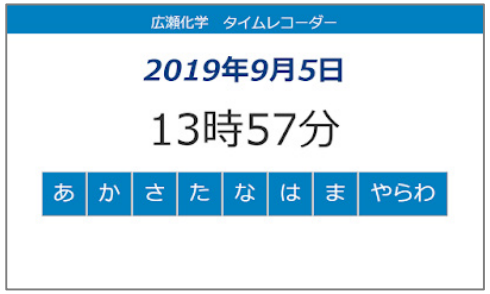
Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

広瀬化学薬品 株式会社 萩原 健補 様 HCL Master

blog 『#中小企業 こそ #Notes / #Domino !!』より

タイムレコーダーアプリ、改築

➔https://www.tanuchi.com/2019/09/blog-post.html



ケートリック 株式会社 加藤 満 様 HCL Master

blog 『notes/domino liaison』より

CollabSphere 2019 ノーツテンプレート応募の続報

➔https://notesdominoliaison.blogspot.com/2019/07/collabsphere-2019-contest-opened.html

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

今 Notes/Dominoについて知っておくべき10のコト

6. PC からスマホまで マルチ・クライアント、マルチ・デバイスのサポート

6. PC からスマホまでマルチ・クライアント、マルチ・デバイスのサポート

メールやアプリケーションは各種のクライアントから利用可能
➔クライアントの種類や数量によるライセンスの追加も発生しません

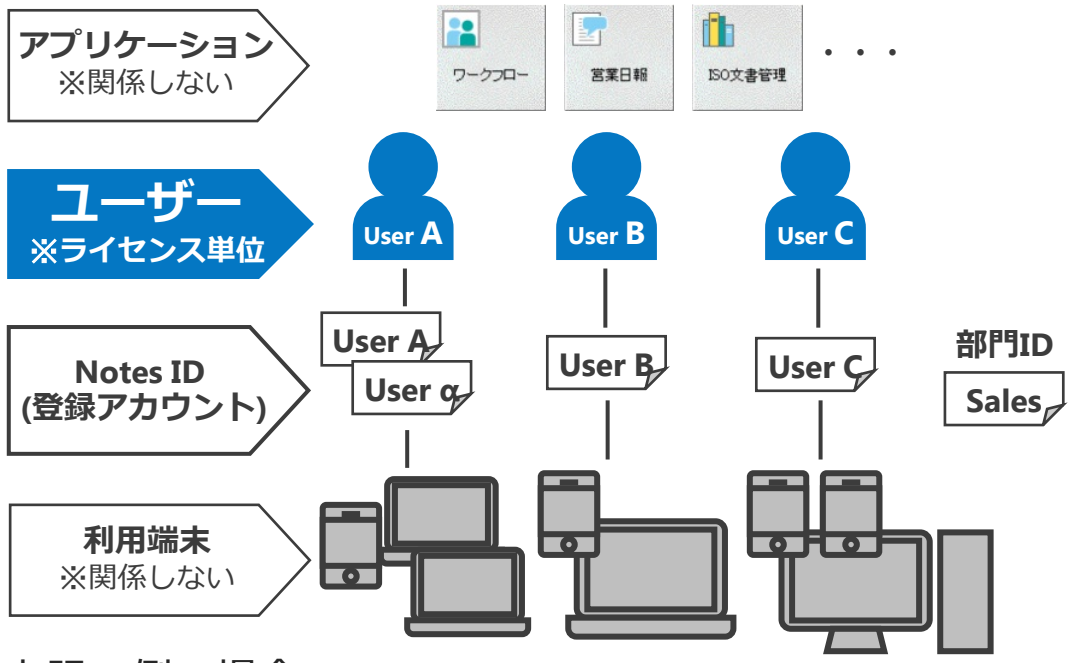
Notes アプリケーションを利用できるのは Notes クライアントだけ・・・ではありません!!

➔ メール、アプリの様々なクライアントを活用できます

- デバイスの併用、混在も問題ありません
- ライセンスが追加で発生することはありません

Notes/Domino のライセンスは「アプリケーションの数」や「利用するクライアントの種類や数」には影響されません

➔ 多くのアプリケーションを、様々なデバイスで利用すればするほど「お得」!!



上記の例の場合

- ライセンス数 ＝「ユーザー数」＝「3」

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

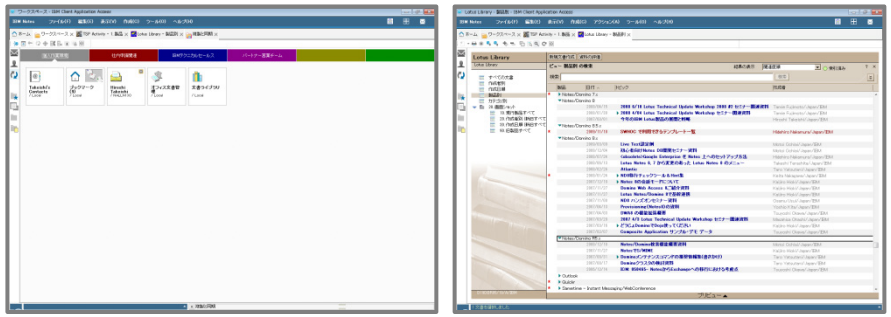
Dominoを利用できる各種クライアント		メール	アプリケーション
Win / Mac	専用(高機能)クライアント	○ Notes クライアント	
	軽量クライアント	–	○ HCAA (HCL Client Application Access) (アプリ用軽量クライアント)
	他社製クライアント	○ Outlook (カレンダーも可), POP/IMAP 対応メーラー(メールのみ)	–
	Webブラウザ	○ Verse, iNotes Web Access	○ ※Web対応アプリケーションのみ
iPad	専用App	○ Verse	○ Domino Mobile Apps
	iOS標準App	○ メール、カレンダー	–
	Webブラウザ	○ iNotes Web Access	○ ※Web対応アプリケーションのみ
iPhone	専用App	○ Verse	(計画中) Domino Mobile Apps
	iOS標準App	○ メール、カレンダー	–
	Webブラウザ	○ iNotes Web Access Ultra Lite	○ ※Web対応アプリケーションのみ
Android	App	○ Verse	(計画中) Domino Mobile Apps
	Webブラウザ	○ iNotes Web Access	○ ※Web対応アプリケーションのみ

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

Domino を利用できる各種クライアントの例

Verse メール (Mac - Webブラウザ)

アプリ軽量クライアント(HCAA)



Verse メール&カレンダー (iPhone - App)

Outlook (Windows)

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

HCL SOFTWARE

今 Notes/Dominoについて知っておくべき10のコト

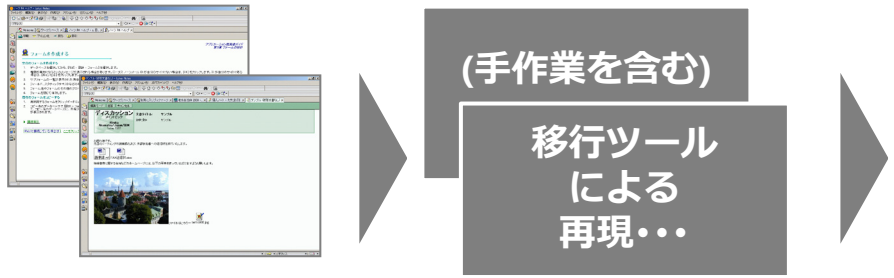
7.「脱ノーツ」の限界と、Notes/Dominoの優れたコストメリット

7.「脱ノーツ」の限界と、Notes/Dominoの優れたコストメリット

業務アプリケーション基盤としての Notes/Domino の特徴を考慮せず取り組まれた「脱ノーツ」の多くが失敗しています
➔「脱ノーツ」が失敗するパターンがあります

「文書型データベース」 vs. 「文書の再現」

- Notes/Domino はリッチ･テキストの文書作成･保存が可能なだけではなく、アクセス制御、検索、リンクなどの機能を含めた「文書型データベース」



➔ **特定の文書の「見た目」「体裁」が再現可能なだけでは、移行や活用は実現できません!!**

☹ **(ユーザーには)文書の更新ができない**

☹ **アクセス制御が反映できない**

☹ **検索できない/検索結果にアクセス制御が反映されない**

☹ **同様の文書の新規作成は困難**

☹ **文書の再利用性の低下**

☹ **リンクなどの機能の欠如**

☹ **etc...**

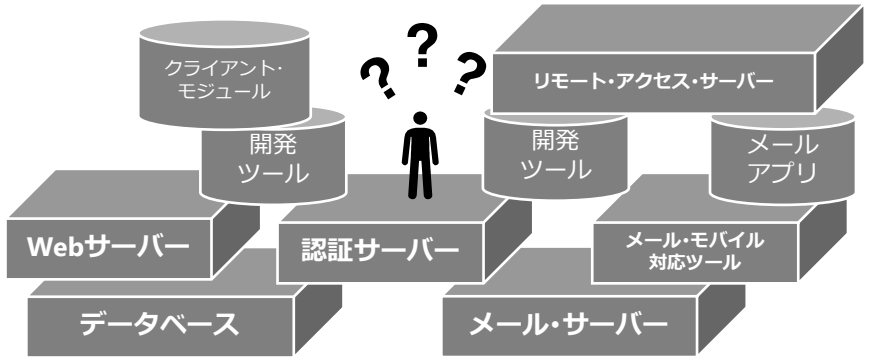
Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

「統合環境」 vs. 「組み合わせ」

- Notes/Domino は PC、モバイルを問わずアプリケーションの開発から展開に必要なすべての機能を網羅

➔ **サーバー、機能、開発ツール、クライアント環境で個別の製品・技術を組み合わせる方法は、多数のアプリケーションを、長期間展開し続けることは難しくなります。**

- 提案に含まれているサーバー、機能、ツール、必要なクライアントやモジュールはすべて把握できていますか？



「ユーザー単位ライセンス」 vs. 「???」

- Notes/Domino のライセンス体系は原則「ユーザー単位」(および「サーバー能力単位」) であり、以下の要素では変わりません
  - アプリケーションの数
  - 利用されるデータや通信の量
  - ユーザーが利用する端末の数と種類

➔ **提案されている環境(およびその実現に利用されているサーバー、機能、開発ツール、クライアント環境全体)のライセンス体系は明確ですか？**

- 提案に含まれているサーバー、機能、ツール、必要なクライアントやモジュールそれぞれのライセンスの単位はどのようになっていますか？

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

「将来性＆新しい活用方法」 vs. 「塩漬け」

- Notes/Domino は既存の資産を、モバイル(Domino Mobile Apps)から利用したり、他システムからデータ活用(DQL)できる形に進化させています
- HCL はこれからもNotes/Dominoの「新しい活用方法」をご提案いたします

➔ **提案されている「Notes移行」に、既存の資産の「再現」や「塩漬け」以上の価値は含まれていますか？**

- 「メールだけは(一応)移行できたけれども･･･」と言う状態で、Notes アプリケーションの利用を継続されており、一方でメンテナンスや新機能が利用できない状態に陥ってしまっているお客様もあります

Notes/Domino のコストメリットを今一度ご確認ください

- ライセンス体系によるメリット
  ➔アプリケーションを利用するほどROIが高くなります
- 「統合環境」によるメリット
  ➔他システムでは実現できないTCOの抑制が可能です
- 継続性によるメリット
  ➔「移行」＝既存の文書やアプリケーションの「再現」のために必要なコストが不要です
- 「新しい活用方法」をすぐに利用できるメリット
  ➔既存の資産、ライセンスを活用して「新しい活用方法」に取り組むことができるため、将来の投資コストを抑制します

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

Notes/Domino
「アプリケーション」の進化

今 Notes/Dominoについて知っておくべき10のコト

8. Dominoアプリをホスティングできるクラウドがあります

8. Domino アプリをホスティングできるクラウドがあります

「Notes/Domino はクラウド対応できない」なんてことはありません!!

➔HCL Cloud Apps = Domino サーバー環境を提供するクラウド・ホスティング・サービス があります

HCL Cloud Apps の特長

- お客様の Domino アプリケーションを対象とした SaaS
- データベース単位のシンプルな料金体系
- Domino アプリの管理と保守のコストを削減
- Domino 技術者のワークロードを軽減
- バージョンやセキュリティを最新の状態に維持
- Domino 技術チームがサポート
- 迅速かつ効率的なクラウドへの移行

最小契約単位

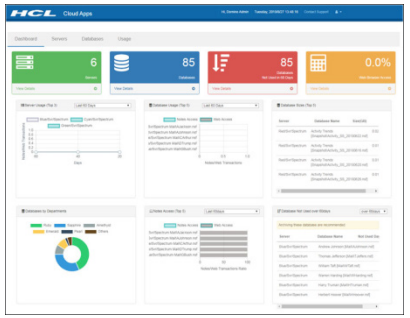
- 最小契約数: 50nsf
- 最短契約期間: 12ヶ月

HCL Cloud Apps 製品ホームページ

➔ https://www.hcljapan.co.jp/software/products/digital_solutions/hca/

HCL Cloud Apps のご紹介(blog)

➔ https://hcljapan.co.jp/software/blog/hcl-cloud-apps-intro-1



HCL Cloud Apps 管理ダッシュボード

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

	HCL Cloud Apps (HCA)	IBM Domino Applications on Cloud (DAC)
提供形態	HCLが**サービス契約**に基づいて ご提供するクラウド・サービス	IBMにて**サブスクリプション**に基づいて ご提供していたクラウド・サービス
基盤となるアーキテクチャー	Domino on Docker	Domino on Docker または Domino on Windows
データセンター (選択可能なIaaS環境)	AWS (各リージョンから選択)	IBM Cloud (米国, 日本, 欧州のデータセンターから選択)
アプリケーション検出のためのツールの提供	サービスに含む	なし
ACLの管理と変更のためのツールの提供	サービスに含む	なし
アプリケーションの複雑さを評価するためのツールの提供	サービスに含む	なし
アプリケーション利用状況の指標ツールの提供	サービスに含む	なし
監視ダッシュボードの提供	サービスに含む	なし
NSFデータベースサイズ上限	50GB	25GB
段階的な移行のサポート	オプション	オプション
一斉切り替えのサポート	オプション	オプション
専用線/VPN 接続	オプション	なし
Domino ライセンス	BYOL	BYOL / ライセンス組み込み から選択
監視とサポート	24時間、7日/週	24時間、7日/週

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

今 Notes/Dominoについて知っておくべき10のコト

9. 今のDominoならできる最新の業務アプリケーション

9. 今の Domino ならできる最新の業務アプリケーション

Notes クライアント「以外」で使える業務アプリケーションはじめませんか？
➔蓄積された業務ナレッジをモバイル端末や他システムで活用しましょう!!

モバイル端末(タブレット&スマートフォン)で実現する業務アプリ

- 「2. モバイル端末でアプリがそのまま動くDomino Mobile Apps」にある通り、iPad や iPhone (V11予定) で Domino アプリケーションを利用することができます

➔ こんなアプリケーションが可能になります

- 店頭や営業先でオフラインで利用できる製品カタログ
- iPad のカメラを利用して写真で報告できる日報
- 倉庫や工場などネットワークが弱い場所でも利用できる作業指示書、手順書
- リモート・ワークや店舗スタッフでも簡単に申請できるワークフロー

DQL (Domino Query Language) や REST API (Domino AppDev Pack) で Notes/Domino 上のデータを他システムから活用

- Domino アプリケーションのデータをクエリーで参照したり、REST API で連携できるようになっています

➔ こんなアプリケーションが可能になります

- Domino アプリで管理している問い合わせ履歴を期間と顧客番号で抽出して、顧客向けWebアプリ内で他の情報と組み合わせて表示
- Domino アプリに保存/更新された情報を即時にデジタルサイネージに掲示
- 他のアプリから REST API でワークフローを起票
- チャット・ボットと連携した予約アプリ

➔ モバイル端末や Web システムまで、Dominoアプリの活用は業務ニーズとアイデア次第!!

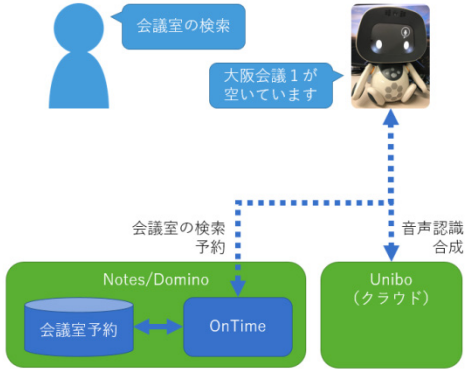
Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

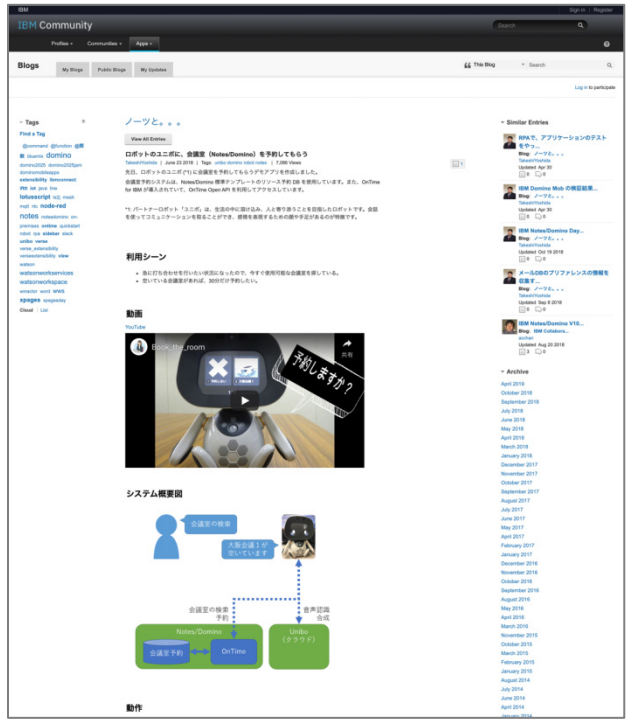
株式会社ソルクシーズ 吉田 武司 様 HCL Master

blog 『ノーツと。。。』より

ロボットのユニボに、会議室（Notes/Domino）を予約してもらう

➔https://www.ibm.com/developerworks/community/blogs/YoshidaTakeshi?lang=en





株式会社 NIS 中野 晴幸 様 HCL Master

blog 『ノーツってヤッぁ..二児の父の苦悩つ』より

V11 の DQL はさらに進化！全文索引の検索も可能に！

➔https://harunakano.blogspot.com/2019/09/v11dql.html

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

今 Notes/Dominoについて知っておくべき10のコト

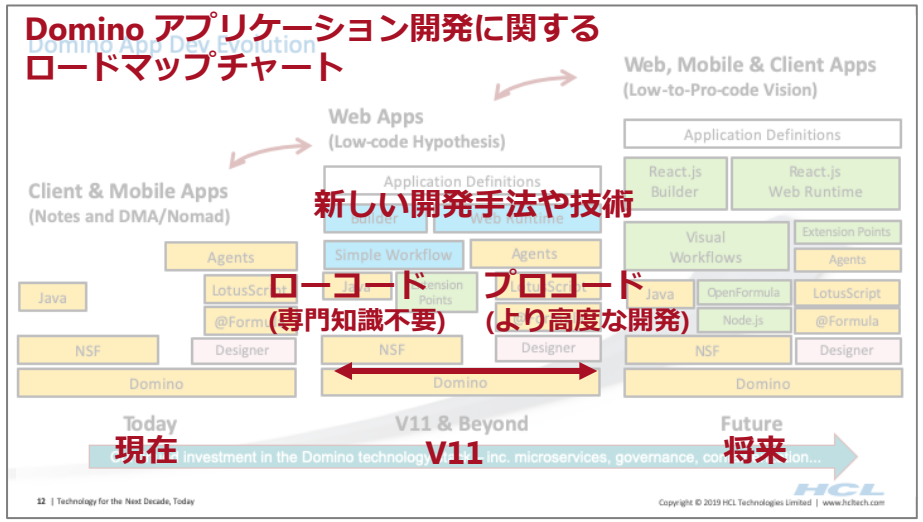
10. ローコードから プロコードまですべての アプリ開発をサポート

10. ローコードからプロコードまでですべてのアプリ開発をサポート

ユーザー部門での専門知識不要のアプリ開発から、高機能なモダン・アプリケーションの開発まで、Notes/Domino が可能にします

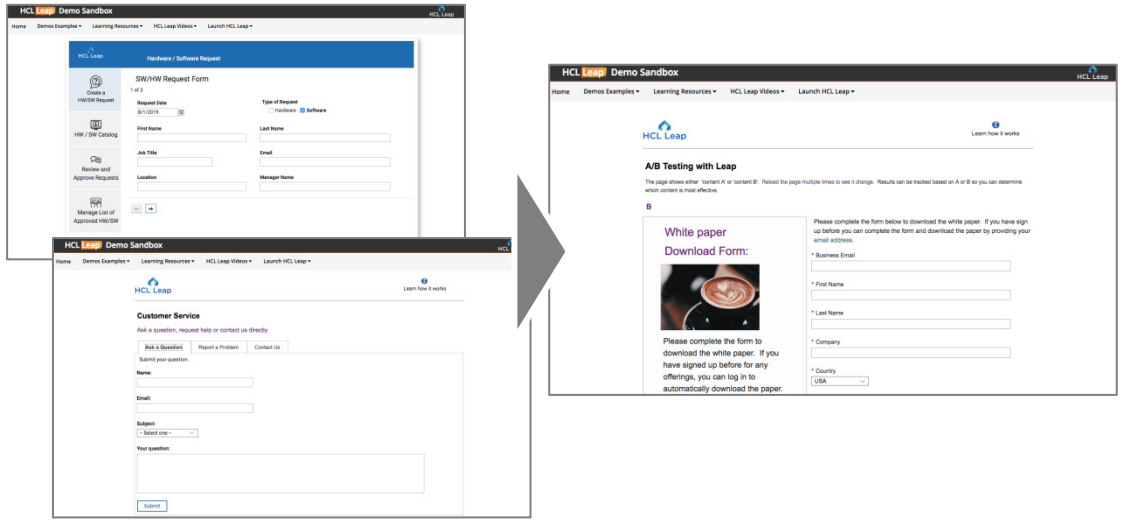
➔次の注目は Notes/Domino V11 “Leap on Domino”

Notes/Domino のアプリケーション開発を Domino Designer だけではなく、ユーザー・サイド、開発者サイドの両方に拡張します



Leap on Domino

➔ 専門知識不要で Domino 上で稼働するアプリを開発できる新しいビルダー



ご参考資料 1

HCL Software
各種情報発信のご案内

Web サイト(ホームページ)

HCL SOFTWARE グローバル Web サイト

➔ https://www.hcltechsw.com/

製品情報、契約書 などのコンテンツ発信に加え、各サービス(機能)を利用するためのサイトへのポータル →P5で詳しく

HCL SOFTWARE 日本語 Web サイト (HCL ジャパン)

➔ https://www.hcljapan.co.jp/software/

グローバル Web サイトを補足する日本での情報を、ブログを含め日本語で発信

HCL ジャパン の ホームページ上部のリンクからアクセス

➔ https://www.hcljapan.co.jp/

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

日本語情報発信 – 購読、フォローをお願いします!!

日本語 Web サイト (https://www.hcljapan.co.jp/software/) や以下のメディアを通じて、日本語情報発信を行っています。これらの購読、フォローをお願いします!!

ブログ

HCL SOFTWARE (JAPAN) BLOG

➔ https://www.hcljapan.co.jp/software/blog/

メール・マガジン

HCL Japan Software Mail Magazine

➔ (購読登録)
https://w.bme.jp/bm/p/f/tf.php?id=hclswjp&task=regist

ソーシャル・メディア

@HclJapan (twitter)

➔ https://twitter.com/HclJapan

- HCL Software日本のtwitterアカウント

ずっとノーツ

@dW_Japan_Lotus (twitter)

➔ https://twitter.com/dW_Japan_Lotus

- Notes/Domino にフォーカスした twitter アカウント

サポート・ポータル の日本語設定について

HCL Software サポート・ポータル (https://hclpnpsupport.hcltech.com/csm) の日本語での利用には設定が必要です

- ✓ サポート・ポータルの表示言語の設定(変更)は必須ではありません。表示言語が英語のままでも、日本語のサポート技術情報の参照は可能です

HCL Software サポート・ポータルへのログイン、ログインに利用するアカウントのパスワード・リセットの方法や、表示言語の変更については、以下のページでご案内しております

➔ **https://www.hcljapan.co.jp/software/support/**

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

グローバル Web サイト

トップページ

➔ **https://www.hcltechsw.com/**

Products & Solutions

➔ **https://www.hcltechsw.com/wps/portal/products**

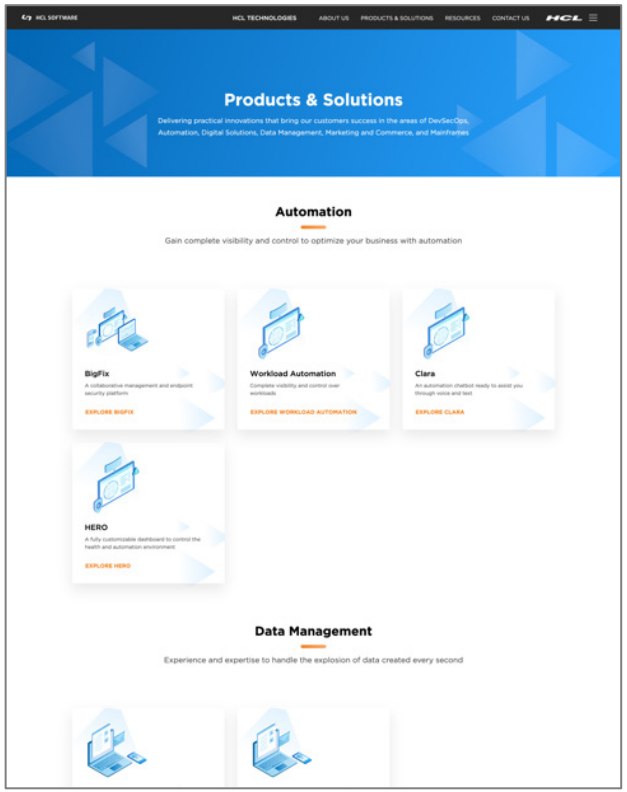
HCL Software の製品ラインナップ

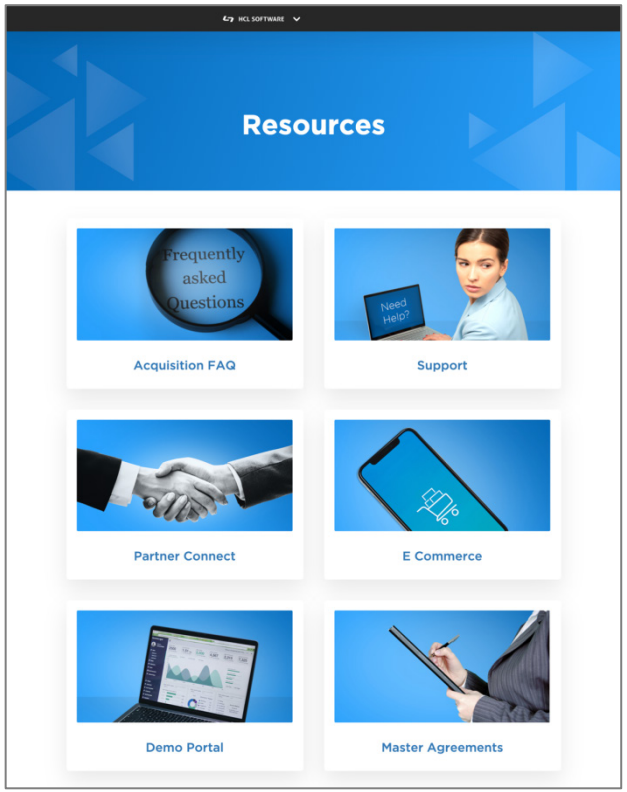
Resources

➔ **https://www.hcltechsw.com/wps/portal/resources**

以下のページへのリンクをまとめております

- Acquisition FAQ
- Support
- Partner Connect (ビジネス・パートナー様向け)
- E Commerce
- Demo Portal
- Master Agreements





Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

お役立ちリンク集

- HCL Product Lifecycle (英語) & 日本語補足情報

➔ **https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb_article&sysparm_article=KB0068850**

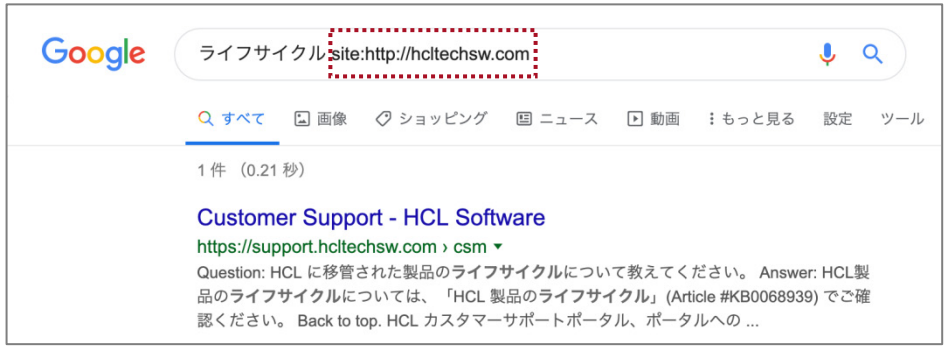
(参考) HCL 製品のライフサイクル

➔https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb_article&sysparm_article=KB0068939

ご参考情報

Google の検索条件に “site:http://hcltechsw.com” の条件式を追加することで、HCLサポート技術情報を含むサイト内での検索が可能になります

✓ 例: ライフサイクル site:http://hcltechsw.com



交流会、コミュニティーなど (外部組織を含む)(日本)

- テクてくLotus技術者夜会

➔ **http://bit.ly/TekTek_Lotus**

= https://support.hcltechsw.com/csm?id=kb_article&sysparm_article=KB0069193

- ノーツコンソーシアム

➔ **https://www.notescons.gr.jp/**

- XPages.JP

➔ **https://www.xpages.jp/**

- のの会

➔ **https://notesknows.connpass.com/**

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

ご参考資料 2
HCLソフトウェア
「基本使用許諾契約」
(Master License Agreement)
に関するご説明資料

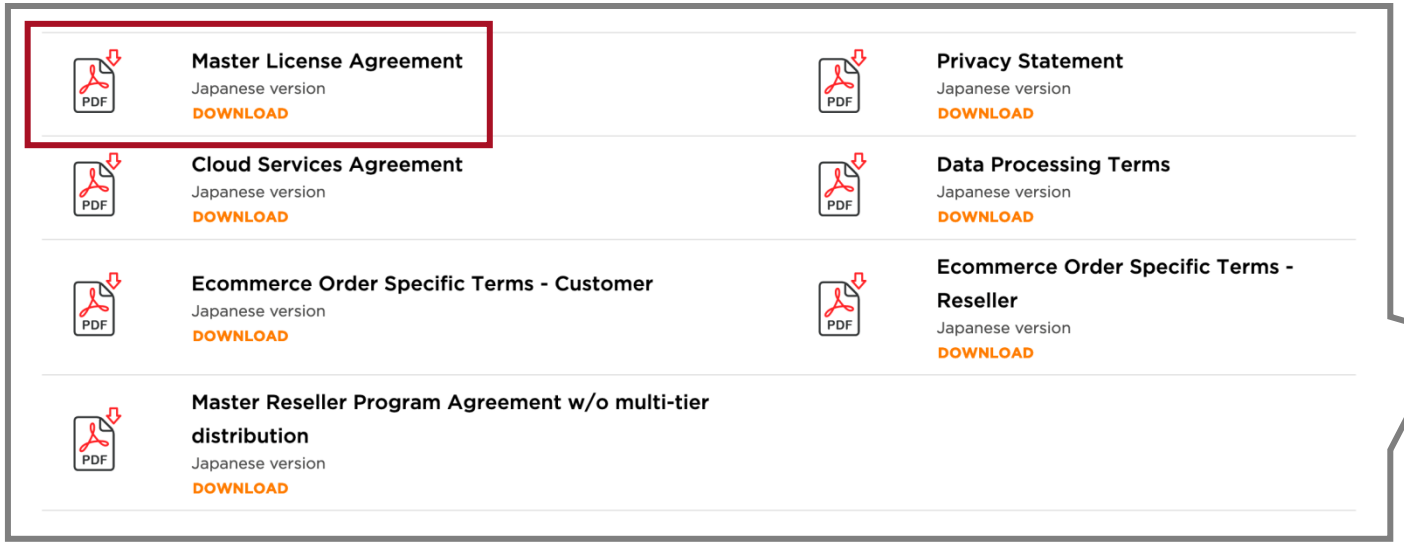
本資料について

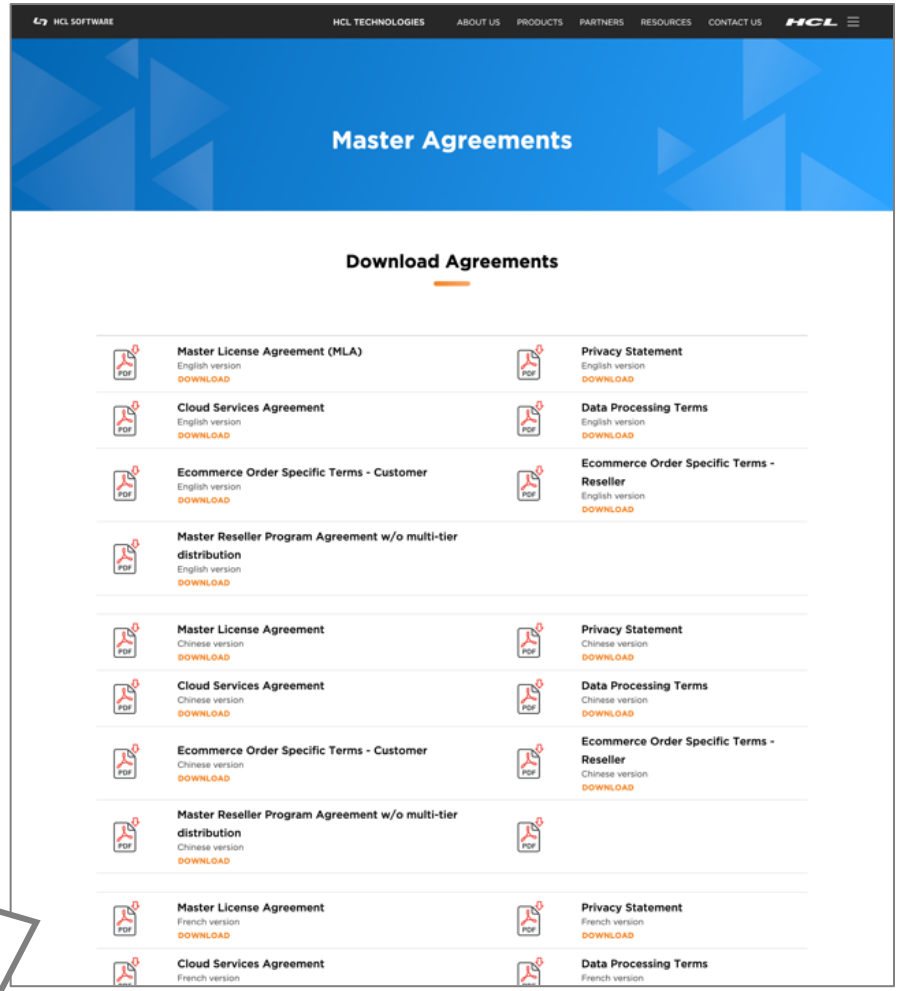
本資料は HCL Software の「基本使用許諾契約」(Master License Agreement)の概要をご紹介することを目的としており、これを上書きしたり変更を加えるものではありません。

➔ 本資料と「基本使用許諾契約」の間に不整合などがあった場合、「基本使用許諾契約」が正式な文書となります。

- HCL Software の「基本使用許諾契約」(Master License Agreement) は以下のページからご確認いただけます
- Master Agreements

➔ https://www.hcltechsw.com/wps/portal/resources/master-agreements





Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

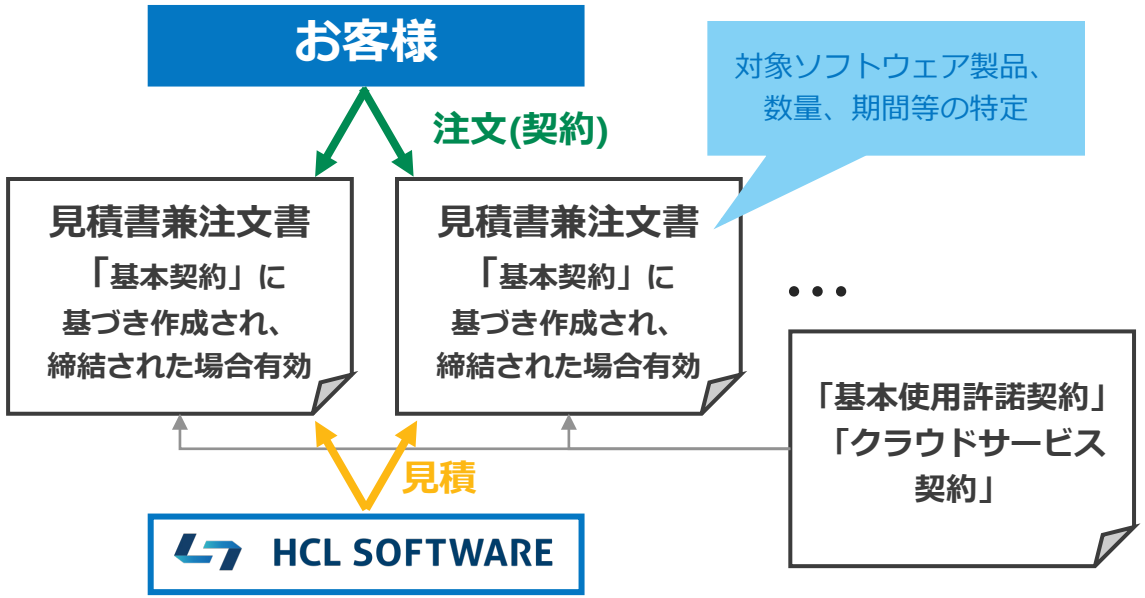
「基本使用許諾契約」(Master License Agreement)の位置付け

HCL Software 「基本使用許諾契約」の位置付け

「基本使用許諾契約」(MLA) は「見積書兼注文書」の前提となるものであり、ご注文により締結されます

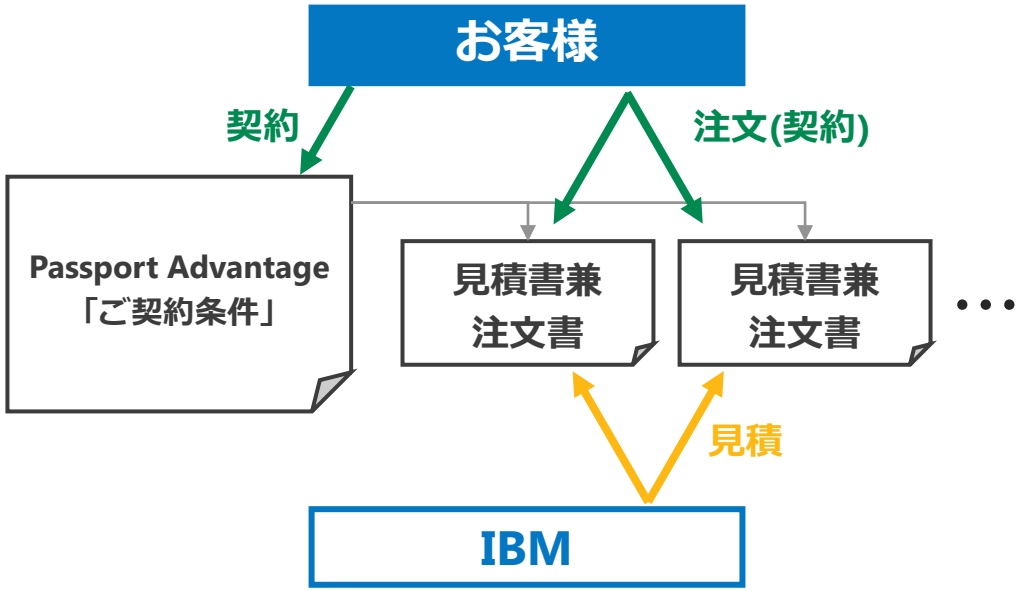
➔ **HCL Software のご注文(ご契約)ごとにMLAに合意いただく形となります**

✓ IBM Passport Advantage の基本契約とは位置付けが異なりますのでご注意ください



(ご参考) IBM Passport Advantage の場合

Passport Advantage の場合は、お客様と IBM の間で「基本契約(ご契約条件)」を事前に締結します



Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

「基本使用許諾契約」(MLA) の位置付け つづき

HCL Software 「基本使用許諾契約」の位置付けは以下のように定められております

2. 契約の構成

両当事者が締結した本件注文に関係する場合に限り、ライセンスが許諾され、本件サポートを受けることができます。それぞれの本件注文には本契約条項が適用され、それに別途明示的に記載されない限り、各本件注文は、それぞれ他の本件注文とは独立した個別契約とみなされます。本件注文は、本契約に基づき、(a)HCL もしくは HCL の関連会社と(b)ライセンシーもしくはライセンシーの関連会社との間で締結可能です。本件注文に関係して、HCL(またはライセンサー)もしくはライセンシー(またはお客様)という用語は、上記本件注文を締結する事業体に言及するものとみなされます。本契約の締結により、またはそれに記載されたいかなる内容によっても、いずれの当事者もいかなる本件注文も締結するように義務付けられるものではありません。**1 件の本件注文が HCL から提案され、その提示がおこなわれた場合、こうした提示の承諾の範囲は当該本件注文にて提示された条件に限定されます。**ライセンシーが、ライセンシー自身の購入注文、注文書、確認書、またはその他のライセンシーの通信書面を提出して本件注文を提案するか、それを承諾する場合、HCL は、こうした文書に基づき確認、承諾、または全体的もしくは部分的に履行したか否かにかかわらず、当該文書に定められた追加の条件もしくは異なる条件に異議を唱え、それを拒否します。HCL が請求書発行の目的で当該文書を使用したり、参照したりする場合でも、かかる追加の条件や異なる条件はいかなるものも、両当事者間の合意の一部とはならないものとします。

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

契約の主体と「関連会社」の定義

「基本使用契約許諾」は

お客様
(ユーザー、ライセンシー)
およびその**関連会社**

と

HCL
(HCL Technologies Limited)
およびその**関連会社**

との間で締結されます

「関連会社」とは以下のいずれかにより支配する、支配される、または共通の支配下にある事業体

a. 株式の50%超の直接または間接的な所有
b. 契約などにより a. と同等の経営および方針を指示する/指示させる権限

1.1. 「関連会社」とは、HCL またはライセンシーを支配する、それらにより支配される、またはそれらと共通の支配下にある事業体を指します。こうした支配は以下のいずれかから生じるものとします。(a)発行済議決権付株式の 50%超の所有持分および/または同等の持分の直接的または間接的な所有。あるいは(b)議決権付株式および/またはそれに相当する持分の所有を通じるか否かにかかわらすず、契約により、または発行済議決権付株式の 50%超および/または同等の持分の直接または間接的な所有により与えられるのと等しい他の方法により、経営および方針を指示する権限、またはこれを指示させることのできる権限。

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

使用許諾の範囲など

プログラムは「使用許諾」であり売却されるものではありません

➔「6. 保有権」をご参照ください

使用許諾は以下を条件として許諾されます

- ご発注をいただいた注文書に記載された**数量の範囲内**の
- お客様(関連会社)**内部での事業目的での利用**に限り
- 定められた条件※での使用

➔「3. ライセンスの許諾」をご参照ください

※ 使用許諾の条件の記載は以下の文書も含みます

- ガイド、マニュアル、その他の技術文書
- プログラム特有の情報および追加の使用許諾条項を記載した「ライセンス情報」

➔「1. 定義」内「1.2. 「本件文書」」をご参照ください

以下は認められません

- 派生製品の作成
- 譲渡、配布、リース、貸与またはその他方法による他社への移転
- その他「4. ライセンスの制限」の記載事項

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

監査について

HCL による監査について以下のように定めております

➔ **お客様はHCL 、その関連会社、コンサルタント、サービス提供者および請負業者による監査に同意します**

- 12ヶ月に1回を超えない頻度
- 15日前に通知
- お客様の任意の施設での、業務時間内での実施
- 監査権は注文(契約)満了後2年間存続

➔ **注文が不足していた場合は速やかに差額をお支払いいただきます**

12. ライセンスの順守
ライセンシーは、ライセンシー、その関連会社、コンサルタント、サービス提供者および請負業者(以下総称して「ライセンシーの事業者」といいます)が本契約および/または本件注文を順守して使用しているかを検証するために、HCL がそれらのソフトウェアログを 12 か月間に 1 回を超えない頻度で監査できることに同意します。HCL はライセンシーが本契約の条項を順守していることを検証するのに必要な範囲で、こうしたソフトウェアログのコピーをとることができます。HCL は、自社で監査を実施するか、または自身の選択により当該監査をおこなうために独立の第三者を雇う場合があります。ただし、こうした第三者は本契約で規定されるのと一致した秘密義務に服するものとします。監査は、本件プログラムがインストールされ、使用され、遠隔からを含みアクセスされるライセンシーの事業者の任意の施設でおこなうことができます。HCL は監査に関係する自身の費用を負担します。HCL は監査をする 15 暦日前に通知をします。こうした監査はライセンシーの事業者の通常の業務時間内に、その業務への妨害を最小に抑える方法により実施します。ライセンシーの事業者は、HCL が当該監査を実行するために合理的に必要なあらゆる支援を提供します。監査により過少支払いが明らかになった場合、ライセンシーは速やかに該当する支払いをおこないます。監査により使用の過少報告が明らかになった場合、ライセンシーは、HCL のその時点のプログラムの料金表に基づいて速やかに差額を支払います。本契約のすべての条項と同様に、この条項における HCL の権利と救済は、本契約、任意の本件注文、コモンローもしくは衡平法の下で HCL に与えられるその他の権利と救済を毀損するものではありません。この条項に基づく HCL の監査権は、本件注文もしくは本契約の解除または満了後も 2 年間は存続するものとします。

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

FAQ : プロセッサー Value Unit (PVU)のライセンスと管理について

Q **Passport Advantageのサブキャパシティーライセンスを利用しており、ILMTでPVU数の管理を行っています。今回のHCLへの移管でこれらの変更が必要ですか？**

A お客様の既存のご契約にはPassport Advantageの条件が継続して適用されております。
よって、今回の製品のHCLへの移管にあたって、お客様での現在のご契約ならびに管理ツールなどの変更は不要です。
また、Passport AdvantageのPVU定義に基づいて、ご契約のあるPVU数の変更(超過)を伴わないサーバー構成の変更などを行っていただくことも可能です。

Q **HCLでの更新や追加を行う場合に適用されるHCLのライセンス条件ではValue Unitの定義やサブキャパシティーライセンスの変更はありますか？**

A HCLではライセンス体系の簡素化を検討しており、今後のValue Unitの定義やサブキャパシティーライセンスの考え方を変更する可能性があります。
この変更が行われるまでの間、または、Passport Advantageから移管されたサブキャパシティーライセンスの製品が継続している間は、サブキャパシティーライセンスをご利用(ご契約)いただくことが可能です。この場合のPVU数はPassport Advantageの定義を踏襲します。ただし、HCLではこれに対するILMTによるPVU数の管理は求めません。お客様において必要な場合にご提示いただける可能かつ合理的な方法で、適用しているPVU数の記録と保管をお願いいたします。(HCLに移管されたソフトウェアに関するご案内であり、IBMソフトウェアに適用されるものではありません)

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com

Copyright © 2019 HCL Technologies Limited | www.hcltechsw.com